

平成30年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式 2

系統名	中伊豆線			事業者名	伊豆箱根バス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	修善寺駅	地藏堂・貴僧坊	筏場		
系統キロ程 (km)	12.7	輸送量 (人/日)	28.8		
平均乗車密度 (人/便)	2.0	運行回数 (回/日)	14.4		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	修善寺南小学校、中伊豆小学校、修善寺中学校、中伊豆中学校			
	病院	中伊豆温泉病院、伊豆赤十字病院			
	商業施設	銀行（静岡・スルガ・静岡中央・三島信用）、修善寺郵便局、JA伊豆の国農の駅、マックスバリュ修善寺駅前店、モガワ、コメリ、スーパーカイト中伊豆店、クリエイトエスディー中伊豆店			
	その他	伊豆市役所、伊豆市役所中伊豆支所、中伊豆図書館、修善寺郵便局、伊豆箱根鉄道修善寺駅、なかいず認定こども園、JAハートフルメモリー修善寺会館、修善寺体育館、修善寺グラウンド			
収支率 (%) (収益/費用)	30.6		乗車人員 (人)	78,750	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 3	名称	拠点：伊豆箱根鉄道修善寺駅 バス停：上和田橋、戸倉野、八幡		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	46.4				
増収策	<p>SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせを配信し、多くの情報を提供することで、バスの利用に繋げる。</p> <p>オリンピックに向けてインバウンド旅客の更なる増加が予想されることから、バス車内やHPへインバウンド旅客向けの案内の充実を図る。また、伊豆箱根鉄道とのインバウンド用2日間フリー乗車券の一層の周知を図り、集客に努める。</p> <p>自社の利用感謝イベントや地域のイベント等に参加し、チラシやノベルティの配布を通して、バス利用の啓発活動に取り組む。</p> <p>通学定期券の割引率を高めた特割通学定期券や、利用者の利用実態に即した平日型通学定期券や片道通学定期券を発売し、利用促進に努める。</p>				
費用削減策	<p>ダイヤ改正と合わせて、運転手の仕業本数を見直し、効率的に人件費の削減を図る。</p> <p>乗務員教育から事故防止意識を醸成し、不用意な事故に起因する車両修繕費や保険料等の費用の抑制に努める。</p> <p>営業所の統合により営業所の事務員人件費・管理運営費等の削減と効率化を図る。</p>				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

# 系統地図

